

ONE NAGAO PROJECT JOURNAL



2018年10月～12月にかけて、
全3回の次世代リーダーワークショップが開催されました。
今回は、ワークショップの様様を写真もたっぷりでお伝えします！



アクション発想ワークショップに向けて

Message



ファームランドながお
サービス管理責任者
事業所管理責任者
柳澤 弘毅

「ONE NAGAO PROJECT」は新しい法人パンフレットを！という思いから始まり、職員全員でこれからの考えていく、とても大きな動きになりました。「何か始まった、けど何が始まった？」という疑問や「何をしたら良い？何が変わる？」と不安を感じている職員の皆さん、その「何」を一緒に考えていきたいと思います。そして、アクション発想ワークショップに参加する皆さん、是非お近くの職員にもこの「何」について聞いてみてください。これまでのワークショップのように「意外(笑)と楽しかった」といった感想が生まれるようなワークショップにしていきましょう！



長尾けやきの里
副施設長
サービス管理責任者
村野 広季

長尾福祉会も大きくなり、たくさんの人が活躍されています。それぞれの立場や経験、考え方・価値観が今の長尾福祉会を創っています。いろいろな人がいても私たちが目指すゴールは同じです。そして、一人ひとりがゴールを見失わない限り必ずとどりに着けるものだと思います。しかしそれは、ゴールにたどり着くための具体策がちゃんとあることが前提です。そして、それは継続していきけるもの、みんなが共通理解していることが必要です。目指すゴールに向け、その具体的な方法を次のワークショップにてみんなで話し合えたら嬉しいと思います。

未来へ に向けた PROJECT SCHEDULE



長尾福祉会のありたい姿。実現するにはどうしたらいいんだろう？
1人ひとりが主体的に考えて、皆でいっしょにつくっていく。
次号では「こういうことをやりたい！」という
具体的なアクションを発想するワークショップの様様をお届けします。

1つの事業所においても知らないままだったことがたくさんあった。皆にも伝えてあげたい。

全部のことを自分だけで取り組むのは無理だけれど、1つひとつ具体的にやってみよう。今日やったことが無駄にならないようにがんばっていきたい。

皆と意見を交わしたり、考えたりすることって面白い。

いつも法人のことを考えてはいるけれど、改めて言葉にする大切さを感じた。

3年後にまたふり返ってみるとか、定期的にやるとすごく面白い取り組みになりそう。

20年という成熟した、できあがった法人みたいだけれど、もっともっとよくできると思う。

自分たちの想いが引き継がれていることを実感できてうれしかった。

法人の未来を考えることがこんなにワクワクすることなどは。

成果だけでなく、考えてきた過程もみんなと共有したい。



次世代リーダーワークショップ

長尾福祉会のありたい姿は？長尾福祉会にとって地域って？チャレンジって？
これから、どんなことを実現していったらいいだろう？
障害部門も保育部門も、すべての事業所と事務局のメンバーがいっしょになって、
お互いの意見やアイデアを伝え合いながら、自分たちの想いや考えを言葉にし、共有しました。

- Part1**
北部 2018年10月23日(火)長尾けやきの里
南部 2018年11月5日(月)どりーむ東小倉保育園
- Part2**
2018年12月1日(土)長尾けやきの里


参加者
村野さん・石川さん(長尾けやきの里)、坂爪さん・高田さん(しらはた)、勝亦さん・細谷さん・尻枝さん・永井さん(セルピきたかせ)、柳澤さん・齋藤さん(ファームランドながお)、原さん・三瀬さん(バセオやがみ)、熊澤さん(あんてろーぶたじま/フォルテ)、落合さん(グリーンヒルズ)、西坂さん(地域相談支援センターれもん)、小林さん(地域相談支援センターいぼん)、東海さん・高木さん(事務局)、津津さん(どりーむ保育園)、松木さん・高田さん(どりーむ東小倉保育園)

※ Part1は北部と南部の2回にわけて、Part2は全体で行いました。
※ 坂爪さん、勝亦さん、細谷さん、落合さんは、Part2からのご参加。

Part1


1 ロードマップづくり

長尾福祉会として、いつまでにどんなことを実現していききたいか。たくさんアイデアを出し合いロードマップとして整理しました。



2 私の描く未来のありたい姿


個人でのワーク、ディスカッション、ロードマップづくりを経て「未来に、長尾福祉会はこうなっていたい」という姿、状態を1人ひとり言葉にしました。



Part2


3 言葉のほりさげ

2のなかから、皆でディスカッションして、ほりさげたい言葉を選定し「長尾福祉会にとって〇〇とは？」を考え、表現しました。



4 ロードマップのブラッシュアップ

改めて1のロードマップを観察しながら、こんなこともしたいな、とブラッシュアップを行いました。



PICK UP! 私の描く未来のありたい姿

グループワークを経て、1人ひとり言葉にした長尾福祉会のありたい姿、15の表現のなかに、長尾福祉会のこれまでの歩みを感じ、これからを考えるたくさんのヒントや気づきが含まれています。

高田さん

働く職員が幸せで
利用する方も幸せで
かわかる地域の方も幸せになれる
長尾福祉会

熊澤さん

- 1日1日を大切に子どもや利用者の方と関わる
- 最良のこと考える みんなで共有してとりかえる
- 地域の中 にとけこんで施設

松木さん

- 子ども・保母者・利用者 にやさしい法人
- 親の養育したい心と育てる
- “幸せ” 自分が必要とされている心と育てる
- 生活の糧である職場(法人)を大切に育てる。組織づくり

尻枝さん

仕事もプライベートも
やりたいうことができる

業務の効率化や休みの取れる体制
壁なく意見交換ができ学びあえる関係
利用者や家族 地域に認められ感謝されやりがいのある仕事に...

小林さん

一人ひとりを大切に福祉人

- 働ける人
- 残業が少ない
- 生活しやすい
- 相談できる
- 働く収入が減る → 介護士不足 解消
- 働く収入が増える → 介護士の 3割増しの給与 増大の収入と 多量に介護士 長尾福祉会 利用者 地域に貢献し続けたい!!

永井さん

利用者さんや他の職員とお互いに尊重しながら毎日働き、外部から見ても、一緒に働いてみたいと思われ長尾福祉会

東海さん

- ① 地域と一緒に生きていく
- ② ケンブリッジが生まれる職員

高木さん

お互いが認めあえる。
チャレンジ精神あふれる法人

柳澤さん

失敗を糧にできる雰囲気を作り出していきたい。
お互い様の気持ちをバトンにして次に引き継いでいきたい!

齋藤さん

利用者さん、利用者さん家族、職員が笑顔で働けるのが、手にやるべくいい取り組み。
たくさんお話を聴き、絆を強くもつねに。

石川さん

いろいろな事業所と関わり、こころを大切にしたい。思われる法人
地域交流、話し合いが大切
職員の個性と無限の可能性を法人
チャレンジ精神と志ある法人
笑顔が溢れる法人

高田さん

利用者の方と、職員の方と、色んな面が伸び伸びと過ごせる雰囲気

原さん

人と街を育む場所に。

三瀬さん

理解し、お互いを尊重しあい
利用者さんも職員も大切にしたい
長尾福祉会

津津さん

- * 地域の人たちに密に接する場所
- * 職員、利用者、子どもが毎日来たいと思える場所
- * 法人内で統一感を持ち、お互いの事を分かちあえる

PICK UP! 言葉のほりさげ 8つの言葉 長尾福祉会にとって『〇〇』とは？

長尾福祉会を考えるうえで大切な8つの言葉。ディスカッションを重ねながら、その意味や価値を「私たちの考える〇〇とは」として、より長尾福祉会らしく表現しました。

<p>私たちの考える 『毎日来たい場所』とは 安心してリラックスできる居場所 です。</p>	<p>私たちの考える 『ゆるーく』とは サブリメントのりしろ です。</p>	<p>私たちの考える 『人と街を育てる』とは 人としての暮らしを大切に育てる。「支えあえる」こと です。</p>	<p>私たちの考える 『笑顔』とは すべての「基本」であり、利用者・保護者・職員・満足度・目標・幸福度の指標として、目標 です。</p>	<p>私たちの考える 『大切に育てること』とは 愛着のベースであり、みんなが幸せになること です。</p>	<p>私たちの考える 『認めあえる』とは 「原点」で話し合い「共通」で「意思」を共有する。初めの一歩、基本的な視点、自分たちも守るもの です。</p>	<p>私たちの考える 『地域』とは お互いに顔の見える関係で支え合って安心感をもって生きていくこと です。</p>	<p>私たちの考える 『チャレンジ』とは 成長するための肥料 です。</p>
--	--	--	--	---	---	---	--

